作って、毎日持ち歩こう！こどもの防災ポーチ

はじめに

2024年1月1日に発生した能登半島地震において、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この地震を機に改めて防災について考えたかたや、自宅の備蓄を確認したかたも多いのではないでしょうか。

もしもの時に備えて自宅などで防災対策をしていても、災害はいつどこで起こるかわかりません。

外出先での防災対策として注目されているのが「防災ポーチ」です。

こどもに持たせたい「防災ポーチ」を100円ショップを利用して作ってみました！

防災ポーチに必要なもの

①チャック付きポーチ　②緊急連絡先カード　③お金（小銭）

④マジックペン　　　　⑤非常用携帯トイレ　⑥個包装のマスク

⑦アルミ簡易ブランケット　⑧ホイッスル　⑨ミニライト

10・ビニール袋　11・ウェットティッシュ　12・個包装の滅菌ガーゼ

13・ラムネ　14・絆創膏　15・大判ハンカチ

防災ポーチの中身からPick Up

②緊急連絡先カード

名前・住所・学校めい・緊急連絡先（両親の連絡先等）

持病・アレルギー等の情報を記入します。

★濡れたりシワがついたりしないよう、名刺サイズのカードケースに入れることをオススメします。

③小銭／13・ラムネ

小銭やラムネは、学校へ持ち込み禁止の場合がありますので確認が必要です。

⑤非常用携帯トイレ

トイレをがまんすることは、こどもにとって難しいこと。携帯トイレを持っておけば安心です。

⑦アルミ簡易ブランケット

停電で暖房が切れたときや屋外で被災したときのために、寒さ対策のアイテムは不可欠です。

万が一屋外でトイレをする際に目隠しとしても使えます。

バラバラになりがちな小物は、小さめの袋にまとめてからポーチに入れると取り出しやすくなります。

すべての中身をひとつにまとめれば、ポーチが完成！重さは約240グラム。

ランドセルの前ポケットにも入る大きさです。

こどもと一緒にポーチを作ろう

ご紹介した防災ポーチの中身はあくまで基本的なものです。その他、常備やく・サニタリー用品など必要なものをこどもと一緒に検討し、カスタマイズしてください。

こどもの防災ポーチで一番大切なことは、定期的なチェックです。こどもの成長に合わせて、半年に一度、親子で中身を見直すことをおすすめします。

災害は避けられませんが、「災害が起こったとき、何が必要か」をご家族でイメージしておくだけで、

状況は大きく変わるはずです。

ぜひご家族で防災ポーチを作り、どのような場合に使うのか話し合ってみてくださいね。

編集：加藤、沓掛